

長岡市災害復興文庫展 2016-中越大震災 12 年、東日本大震災 5 年-

長岡と福島・南相馬

～ 絆の記憶と記録 ～



平成 28 年 10 月 13 日 (木) ~ 11 月 13 日 (日)

9:30~19:00

長岡市立中央図書館 1 階 エントランス

長岡市学校町 1-2-2 電話 0258-32-0658 休館日：毎週月曜日

【関連行事】

◎ギャラリートーク ①10/13 (木) 10:00、②10/23 (日) 11:00、③11/12 (土) 14:00 (各約 40 分)

講師：①③文書資料室職員

②元南相馬市避難者避難所班長・宍戸晃さん、南相馬市立中央図書館司書・高橋将人さん

◎シンポジウム「東日本大震災と熊本地震～中越大震災 12 年目のメッセージ～」

第 1 部「震災アーカイブと絆の記憶」 10/22 (土) 10:00~12:00

会場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい 定員：80 人 (先着) 申込先：文書資料室

◎福島県立図書館「東日本大震災 福島県復興ライブラリー」連携展示

10/1 (土) ~ 11/29 (火) 会場：長岡市立中央図書館

【主催/問い合わせ】〒940-0065 新潟県長岡市坂之上町 3-1-20 (互尊文庫 2 階) 長岡市立中央図書館文書資料室

電話 0258-36-7832 F A X 0258-37-3754 E-mail: monjo@lib.city.nagaoka.niigata.jp

長岡市災害復興文庫展 2016 の開催にあたって

平成 26 年 10 月、長岡市立中央図書館文書資料室は、10 年間の災害対応の成果として、「長岡市災害復興文庫」を開設しました。現在、「被災歴史資料」約 25,000 点、「震災復興関連資料」約 10,000 点を公開しています。将来的には、歴史公文書も含めた長岡市の災害・復興に関わる文書資料を集積し、市民ボランティアと協働で整理・保存・活用していく全国初の試みです。

本展では、中越大震災 12 年、東日本大震災 5 年にあわせて、福島県内の被災者と長岡市民との心の交流を、「長岡市災害復興文庫」の「東日本大震災避難所資料」を中心とした記録の数々から振り返ります。長岡市北部体育館に避難していた南相馬市民へ長岡市内の中学生が贈った千羽鶴も里帰りします。

災害と復興の文庫は、市民共有の財産である経験・教訓に満ちています。災害のすがたを後世に伝えるため、多様な学問分野の研究のため、そして、被災者や被災者を支援した人びとの体験・記憶を呼び起こすために活用されていくことを期待しています。

◎関連行事

■ギャラリートーク

①10/13 (木) 10:00、②10/23 (日) 11:00、③11/12 (土) 14:00 (各約 40 分)

講師：①③長岡市立中央図書館文書資料室職員

②元南相馬市避難者避難所（北部体育館）班長 宍戸 晃 さん

南相馬市立中央図書館 司書 高橋 将人 さん

■シンポジウム「東日本大震災と熊本地震～中越大震災 12 年目のメッセージ～」

第 1 部「震災アーカイブと絆の記憶」 10/22 (土) 10:00～12:00

会場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

演題・講師：

長岡市災害復興文庫の構築・発信と「きおくみらい」

長岡市立中央図書館文書資料室 室長 田中 洋史

長岡市資料整理ボランティア 大平 晃 さん

非日常を振り返って～東日本大震災から 5 年、地域と図書館が考えること～

南相馬市立中央図書館 司書 高橋 将人 さん

定員：80 人（先着） 申込先：文書資料室

■福島県立図書館「東日本大震災 福島県復興ライブラリー」連携展示

10/1 (土) ～11/29 (火) 会場：長岡市立中央図書館 閲覧室

■『リレー講演会「災害史に学ぶ」記録誌』を再版・頒布

10/14 (金) から文書資料室・中央図書館で販売【A4判 307 頁 価格 1,000 円】

平成 26 年度に市内全地域で開催したリレー講演会の記録誌

■国立国会図書館 東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」 (<http://kn.ndl.go.jp>)

トップページに中越大震災発生時に市内の小中学校で撮影された記録写真を掲載

10/21 (金) ～11/6 (日)

■第 18 回 図書館総合展 (<http://www.libraryfair.jp>) に初出展

11/8 (火) ～11/10 日 (木) 会場：パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

全国最大・3 万人規模のイベントで、長岡市災害復興文庫を全国発信